

健康チャンネル きょうと

2015.3 / 第 252 号



京都府庁

- ・診察室より『子宮頸がん検診「ベセスダシステム」について』
総合健診部長／婦人科 細川 千秋
- ・保健指導ものがたり 第8回『積極的見送り案件』
- ・忘れないでね、結核のこと～3月24日は世界結核デーです
- ・がん研究を支援
- ・胸部X線デジタル検診車を導入しました！
- ・リレーエッセイ ・新人紹介

Vol.
252



一般財団法人 京都予防医学センター



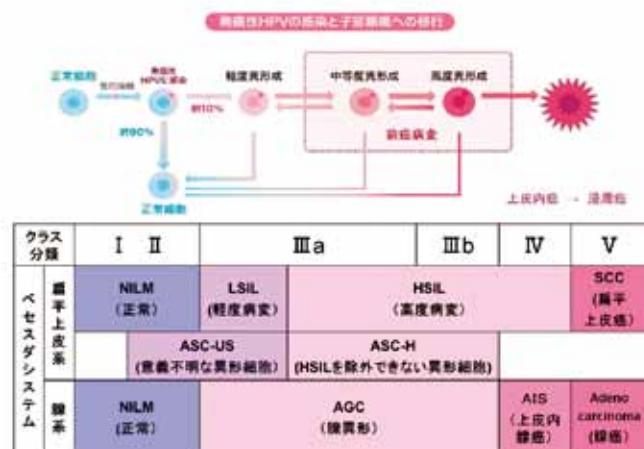
子宮頸がん検診 「ベセスタシステム」について

総合健診部長 / 婦人科
細川 千秋

子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診）の判定方法は、従来使用されてきた「クラス分類」と呼ばれる方法から「ベセスタシステム」と呼ばれる方法に2010年に変更されました。当センターでも昨年度よりベセスタシステムのみの表記としておりますが、結果をご覧になって「わかりにくくなったな」という印象をお持ちの方も少なくないようです。

子宮頸がんの原因の90%以上は、性交渉によるHPV（ヒトパピローマウイルス）の子宮頸部への感染です。ただし、感染すると必ずがんになるのではなく、90%の人は2年以内に免疫力によってウイルスが消失し、一過性の感染で終わります。一方、10%の人では感染が続き、細胞に変化が現れてきます。がん化するのには数年～十数年かかりますので、細胞に変化が現れ始めていても免疫力によってウイルスを排除できれば自然治癒することも少なくありません。しかし、ウイルスを排除できずに感染が長く続くと、がん化の方向に進んでいきます。

子宮頸部細胞診では上記のようなゆっくりとした微妙な細胞の変化をとらえて判定しなければならないのですが、従来使用されてきたクラス分類（5段階に分類する）ではそれらの微妙な異常を分類しきれない場合がありました。また、クラス分類ではHPV感染の有無が十分考慮されていないこともあって、それらの問題を解決するためにベセスタシステムが開発されたのです。「ベセスタ」とは、会議が行われたアメリカメリーランド州の都市の名前です。ベセスタシステム（図参照）の特徴には、



- ①HPV感染の有無を重要視している
- ②子宮頸がんの代表的な組織型（扁平上皮がん、腺がん）を区別している
- ③判定基準は満たさないが何らかの異常が見られる場合の別カテゴリー（ASC-US、ASC-H）を作っている

などがあり、異常の程度がより正確に伝わるよう工夫されています。一見するとわかりにくいように思われるかもしれません、臨床医にとってはクラス分類よりもはるかに運用しやすい判定方法なのです。

ベセスタシステムでは、「NILM」以外の結果はすべて「要精密検査」と判定されます。細胞診は、ひとつひとつの細胞からどの程度の病変が存在するかを推定する検査ですので、さらに詳しく検査してみると、細胞診で推定されていたよりも進んだ病変が見つかることもあります。「ASC-US」「LSIL」など悪性の可能性の低そうなカテゴリーであっても、必ず精密検査を受けるようにしてください。

保健指導ものがたり

第8回 「積極的見送り案件」

3年越しだった。「今やめてるねん。」ジュニアハイスクール期からヘビースモーカーだった池野さん。合うたびに「10本にするわ。」「電子たばこはOKか?」「40本以上吸ってるわ。」ほぼ進展なし。しかし諦めているように思えない。合うたびにタバコは?と積極的見送り案件として介入時期を量った。必ずやめはる…。

4年越しだった。「どや。」どやと差し出された体重、歩数、食事の記録ファイルと対面した時、感動のあまり吸った息が吐き出せなかった。入職後30kg体重増、「また太った、しんどい」成長期はどうに過ぎるも成長を止めない川畠さん。しかし諦めているように思えず、合うたびにお元気?と積極的見送り案件として介入時期を量った。必ず始めはる…。

2年目に入った積極的見送り案件の方がいる。髪

がつやつやしていて、頬が白くふんわりしていて、合うたびに褒めてしまう。こうなるためには、「チャーハンとから揚げの油分がいる。」わけで、毎日ラーメン屋へ行くがラーメンは食べない。食改善ご提案中の山田さん。

保健指導を始めたばかりのころは、見送るなんて発想はありませんでした。1回のかかわりで全て一件落着させなければと思っていました。でも、禁煙にせよ減量にせよ実現の日は来るものだと池野さんと川畠さんに教えてもらいました。今は、そのきっかけをうまく生かしてもらえるように、またはきっかけそのものになれたらと思っています。そして「どや」的報告をもらって息ができない日は、次はいつやろうなあ。

健康推進係 保健師 西村久美子

忘れないでね、結核のこと

3月24日は世界結核デー (World TB Day)

1882年3月24日、ドイツのロベルト・コッホ博士が結核菌を発見し演説したことに因んで、世界保健機関（WHO）ではこの日を世界結核デーとしました。

風邪のようで風邪じゃない

結核になると、咳やたんが2週間以上続いたり、体の具合が良くなかったと思ったらまた悪化したりします。それに加え、高齢者では倦怠感が続いたり、急にやせ衰えたりすることもあります。いつもの風邪とはちょっと違うなと思ったら、必ず医療機関を受診してください。また、咳が出るときはマスクをつけましょう。

結核予防会の活動

●ホームページ

<http://www.jatahq.org/>

結核に関する
知識・情報が
満載!



●外国人結核電話相談

TEL 03-3292-1218・1219

毎週火曜日
10～12時、
13～15時



●書籍

TEL 03-3292-9289



<http://www.jatahq.org/scb/shop/shop.cgi>
e-mail book@jatahq.org



がん研究を支援

京都予防医学センターでは、がんの予防、治療等に役立つ専門的研究に従事する方を対象に、その研究を助成することを目的として、研究費の助成を行っています。この度、平成26年度の研究助成の公募を行い、選考の結果、以下の方々の研究へ助成を行うこととしました。(敬称略)



■『超高齢者の消化器癌手術における日本人に適した術前リスク評価法の確立』

京都市立病院外科 副部長 小濱 和貴

■『食道癌に対する新規光線力学療法の確立』

京都大学大学院医学研究科腫瘍薬物治療学講座 助教 大橋 真也

■『患者負担の少ない子宮体癌特異的バイオマーカーの同定と新たな予後因子の検討』

京都府立医科大学産婦人科 助教 黒星 晴夫

■『慢性閉塞性肺疾患患者のがん発症の予測因子』

京都大学医学部附属病院呼吸器内科 講師 室 繁郎

■『抗癌剤放射線療法後の肺癌における再発に関する検討

癌特異的代謝性マーカーについて』

京都大学大学院医学研究科呼吸器外科 博士課程 曽和 晃正

当財団の研究助成金は、がん征圧運動に対してお寄せいただく皆様のご寄付を原資としています。わが国では、年間約36万5千人が「がん」で亡くなっています。死因の第1位にある「がん」の研究発展のため、これからもご協力をお願い申し上げます。

胸部X線デジタル検診車を導入しました！

この度、公益財団法人JKA(平成26年度公益事業振興補助事業)の競輪補助金を受けて、胸部X線デジタル検診車を導入いたしました。

この検診車は、重さ400kgまでに対応した大型の昇降リフトを搭載しており、専用車椅子に乗ったまま安全に検診車に入っていたく事が出来ます。撮影に関しては、可動式の胸部撮影台(ユニバーサルスタンド)の採用により、座ったままでも安全に撮影することが可能となりました。

また、最新鋭のデジタル撮影装置の搭載により、今まで以上に精度の高い画像が撮影でき、診断の精度向上が期待できます。

車輌に関しましても最新技術を採用し、環境に配慮した低公害仕様となっております。

今後、市町村の住民検診や事業所での健康診断の場で、結核・肺がんの早期発見に大いに役立つよう活用して参ります。

(放射線科 戸来 満)



リレー エッセイ

診療医事係
吉田 真弓



センターで働く仲間を
紹介させてください

私は附属診療所で医療事務をしています。仕事はおもに患者様の受付応対、会計、レセプト作成などで、なかでもレセプト業務はとても重要な業務だと思います。

レセプト業務とは、医療費の患者様の負担分を差し引いた金額をそれぞれの保険者に請求するという仕事です。もっとも時間がかかる仕事なのですが、今では医療現場のIT化が進み、コンピューターで処理できるようになり効率よく仕事が出来るようになりました。

私が医療事務を始めた20年前は、カルテ作成から会計、レセプトまですべて手書きでした。分厚い薬価の本や点数表などをその都度見ていたのでは、会計で患者様をお待たせしてしまうことになるので、よく出る薬や検査の点数はほとんど暗記していました。コンピューターになってからはコード番号を入力するだけで自動で計算してくれるので、大変便利になった分、頭をあまり使わなくなつたように思います。

現在はもっとIT化が進んでおり、電子カルテやオーダーリングなどを導入している病院も増えています。当センターではまだ電子カルテやオーダーリングといったものはありませんが、目下電子化に向けて検討中です。

当センターでは建て替えも無事終わり、施設も新しくなりました。これを機にオーダーリングや電子カルテが導入され、患者様の待ち時間などが解消されれば良いなと思っております。

新・人紹・介

よろしくお願ひ
いたします。



総合健診課
木下 奈津子



情報統計課
清水 咲



総合健診課
人目 真理子



放射線科
平野 慧



総合健診課
廣攻 英里



集団検診課
看護師
水谷 優子



診療
看護師
森田 有美子



平成27年2月23日、京都予防医学センター本館講堂において「京都予防医学センター本館竣工式」を挙行しました。施主、設計・施工関係者、当センター職員らが参列するなか、北野天満宮神職による神事が行われ、専務理事他、関係者により玉串が奉奠されました。



編集後記

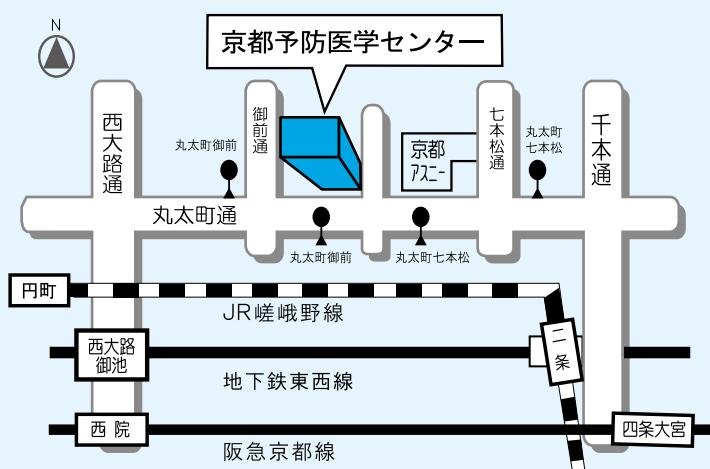
賀茂川

3月と言えば年度末で、一般的にとても多忙な時期です。多忙すぎる生活は、心にゆとりが無くなり、疲れも溜まりやすくなるので要注意です。

私が節句の中で一番好きなのが「桃の節句」。3月3日の雛祭が近づくにつれて、街には可愛いお雛様が飾られ、優美・優雅さについつい足を止めてしまいます。そういう小さな喜びで、幸せホルモンを分泌させ、心やお肌の栄養補給をしていきたいと思います。

(上野)

一般財団法人 京都予防医学センター



〒604-8491

京都市中京区西ノ京左馬寮町28番地

(京都市中京区丸太町通御前東)

TEL: 075-811-9131(代)

FAX: 075-811-9138

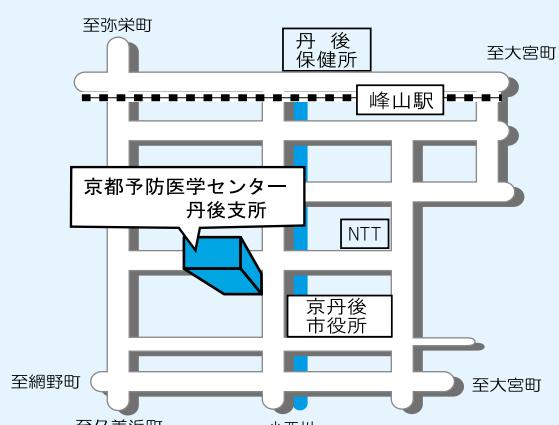
<http://www.kyotoyobouigaku.or.jp/>

E-mail genki@kyotoyobouigaku.or.jp

結核予防会京都府支部

予防医学事業中央会京都支部

日本対がん協会京都府支部



【丹後支所】

〒627-0012

京都府京丹後市峰山町杉谷784

TEL: 0772-62-0693

FAX: 0772-62-5979